

救急医療支援に関する協定 米盛病院と西諸広域が締結

9月19日、米盛病院（鹿児島市）と西諸広域行政事務組合が「災害時における救急医療支援に関する協定」を締結しました。同院は、DMAT（災害派遣医療チーム）を持つ災害拠点病院。大規模な事故や災害が発生し、県内で対応が難しい場合に人材の提供や処置などの支援をいただきます。



西諸広域行政事務組合 富岡謙二副院長（えびの市出身）は「県をまたぐ災害が多数発生している。もしものとき地元の方になれればうれしい」と話していました



三女の山菅咲枝さんは「母は厳しく強い人。これからも、元気で長生きしてほしい」と話していました

市内最高齢 109歳 松元ユキエさんを祝福

9月17日の敬老の日に、市内最高齢の松元ユキエさんを市長が表敬訪問しました。松元さんは明治42年生まれ。農業で汗を流しながら5人の子どもを育てました。松元さんは、「何でも食べるけど、好きな食べ物はぼたもち。今は、子どもたちと会える時間が一番楽しい」と話していました。

「着色よく出来がいい」 梨とぶどうの品評会開催

8月27日、市果樹農業振興推進対策協議会とJAこばやし梨ぶどう生産部会の品評会が開かれました。【以下、結果・優等と金賞のみ・敬称略】◆豊水の部▼協議会…小原勇太▼JA…西ノ村一真◆ニューピオーネの部▼協議会…橋満和夫▼JA…西ノ村一真◆シャインマスカットの部…前田博俊



同協議会の前田博俊会長は「着色がよく出来がいい。収穫量も多いのでぜひ食べてほしい」と話していました



子どもたちから「外国人がいっぱい遊びに来るまちになる」、「空を飛ぶ遊びができるようになる」などの意見が飛び交っていました

小林の未来を考える 夏休み熱中キッズ教室を開催

8月19日、夏休み熱中キッズ教室が開催されました。市内の小・中学生18人が参加。東京などで活躍する大学教授や経営者など4人の講師が、透明マントやAR技術、VR技術などの最先端の科学技術などを動画を交えながら説明し、その後、子どもたちと小林の未来について語り合いました。



瀬戸山さんは「出場するからには上を目指します。大会まで時間があるので内容を精査したい」と抱負を話していました。

九州大会で最高得点を獲得 市SAP会員が全国大会出場

8月29日、市SAP会議の瀬戸山貴行さんが来年2月の全国青年農業者会議（若手農業者の活動や意見を発表する大会）への出場を市長に報告しました。7月の九州大会で、機械開発による作業の省力化やコスト削減などを発表して最高得点を獲得。全国大会での活躍が期待されます。

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、南地区

地域をクリーンに「火バサミウォーキング」

環境美化部会では、クリーン大作戦として「火バサミウォーキング」を行っています。

2回目の開催となった8月19日は、130人を超える参加者となりました。火バサミとごみ袋をもって自宅をスタートし、集合場所となっている南小学校まで、校区内の道路沿いやごみの多い場所を拾っていき

ました。いつもは気づかない所にごみがあったり、校区内での清掃の大切さを実感。ごみ拾い終了後は、集合写真の撮影と抽選会を行いました。

参加していただいた皆様と、南校区をいつもキレイにさせていただいている皆様のおかげで、とてもきれいな校区にすることができました。



地域活性化を目指し、 地域おこし協力隊2人着任

地域活性化と定住・定着を目的とした総務省の「地域おこし協力隊」事業で、9月1日、倉岡ジョンカルロス博さんと倉岡あゆ美さんに隊員を委嘱しました。博さんは、農業を通じた地域活性化、あゆ美さんは六次産業化や特産品のブランディングなどに取り組みます。



博さん（写真中）は地方創生課、あゆ美さん（写真右）は市コワーキングスペースTENOSSEで勤務し活動します



市初の患者等搬送業者に認定
福祉タクシーきずな 代表
すみ のり
四位 純徳さん



写真④きずなは、2台の福祉タクシーを運行している。③四位さんと同じく看護師の足利洋子さんと2人で対応する。②社内には、吸引機や血圧計などを常備しているので安心して利用できる。利用方法など詳しくは、福祉タクシーきずな (Tel. 44-2707) まで。

今年7月、市内で初めて患者等搬送業者に西諸広域行政事務組合消防本部から認定された「福祉タクシーきずな」。代表を務めるのは四位純徳さん、58歳。福祉タクシーは、介助が必要な人などの移動手段として民間事業者が提供するサービス。きずなは、県内では唯一看護師が同乗する福祉タクシーで、ストレッチャーや応急手当に必要な資器材を搭載しており、移動中の容態の急変などにも対応ができる。このような体制が認められ、患者等搬

送業者に認定された。四位さんが、きずなを開業したのは8年前。それまで、看護師として病院や福祉施設に勤めていたが、「一人一人の思いに寄り添った介護をしたい」と考え退職した。「重度の病気などで入院が長期にわたった場合、少し体調がいい日に家に帰りたいと思うのは当然ですよね?そんなとき、家の中まで介助をしながら送ってくれる事業所は小林には少なかったんです」。しかし、開業したものの

福祉タクシーの認知度は低く、利用者は増えていきません。それでも、利用してくれた人に丁寧に対応することで少しずつ口コミで広がっていった。「利用者が笑顔になったときが、一番良かったと思います。出の地に旅行に行きたい」、そんな思いを持つ人のお手伝いも積極的にしていきたい。四位さんの優しさが詰まった「福祉タクシーきずな」は、今日も小林のまちに笑顔を運ぶ。

利用者が笑顔になったときが
やっていてよかったと思える瞬間。
一人一人の思いに寄り添っていききたい。

小林
こばやしびと
Vol.81

熟練された溶接の技術を競う

7月14日、県溶接技術協議会小林地区大会が開催され、8月21日、市役所で表彰式が行われました。【結果(優勝のみ・敬称略)】■アーク溶接の部▼個人…三原省一郎▼団体…(有)山下鉄工所■半自動溶接の部▼個人…出水孝政▼団体…(株)タネダ



第3分団第10部が県操法大会5位

8月25日、宮崎県消防操法大会が開催されました。市からは、西諸代表として小型ポンプの部に第3分団第10部(南西方地区)が出場。例年以上にレベルの高い戦いの中、数か月間にわたる訓練の成果を披露し、5位に入りました。



民泊・体験を活用した可能性考える

9月4日、ANAとAirbnbの2社共同のホームシェアリングセミナーがKITTO小林で開催されました。Airbnbスタッフが「民泊」の現状や始め方を説明。約60人が参加し、地方での民泊・体験を活用した新しい可能性について考えました。



キクのフラワーアレンジメント寄贈

9月7日、西諸地区区花き振興会がキクを中心としたアレンジメントを寄贈しました。健康長寿を願う9月9日の重陽の節句に合わせて、小林秀峰高校生と一緒に作成。宮路博臣会長は「多くの人にキクの魅力を知ってもらいたい」と話していました。



小林の美しい景観を保全・創出

8月10日、景観審議会委員の委嘱状交付が行われました。市の景観について調査・審議するため9人に委嘱。今後は、景観条例や景観計画に基づき、街なみや農地・集落の景観など、市の美しい景観の保全・創出について審議していきます。



のじり湖祭に約1万人が来場

8月25日、のじり湖祭がのじりこびあ野外ステージで開催されました。ステージイベントや打ち上げ花火などを実施。地元高校生が考えた企画やSNSを活用した来場者参加型イベントなどで、会場は多くの来場者で埋め尽くされました。



三松小男子バレースポ少が初制覇

8月30日、三松小男子バレースポ少が西諸地区の小学生男子チームとして初めて全九州小学生バレーボール大会で優勝したことを市長に報告しました。有島政夢音主将は「ミスしてもみんなで声をあげてがんばりました」と話していました。



庁舎前の池にニシキゴイが回遊

9月6日、新興助さんが市に錦鯉10匹を寄贈しました。「市役所に訪れた人の憩いの場として、皆さんに楽しんでいただければうれしい」と新さん。いただいた錦鯉は、庁舎本館前の池で回遊しています。来庁された際は、ぜひご覧ください。

